

# T

# omozo

Free Paper

2012

1/28

vol.16

友蔵員厳選！

新入生にオススメしたい本

高野和明全著書レビュー

高野さんから横国生へのメッセージも掲載！！

特集

高野和明全著書レビュー…………… 5

高野さんから横国生へのメッセージ 6

十三階段 グレイブディッカー ス・Zの悲劇

幽霊人命救助隊 夢のカルテ 6時間後にきみは死ぬ

ジエノサイド

2012年友棚、生まれ変わります!?…………… 12

特集

新入生にオススメしたい本…………… 14

PINBALL, 1973 墮落論 追憶五断章

灰色のダイエットココロラ TOKYO STYLE

book review ②

book review ①

## 高野和明全書著レビュー



### 高野和明 (1964年10月26日 - )

日本の小説家、脚本家。日本推理作家協会現会員。2001年、死刑制度を扱った小説『13階段』を第四十七回江戸川乱歩賞に応募し、選考委員であった宮部みゆきらに絶賛され、満場一致で受賞する。同作品は40万部を売り上げ、乱歩賞受賞作品の中でもっとも速く高い売り上げ記録を達成している。

また、自身の著作である連作短編集「6時間後に君は死ぬ」のWOWOWドラマW枠での映像化においては脚本も担当。また後半部分「3時間後に僕は死ぬ」の演出も担当した。

2011年、『ジェノサイド』で第145回直木三十五賞候補、第2回山田風太郎賞受賞。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。皆さんの多くは不安と喜びが入り混じった複雑な感情をお持ちの事と思います。大学はどんな様子なのだろうか、どんな出会いが待っているのか、授業は難しいのだろうか……。その中であなたのこれからの大学生活に大きく関わってくる一つが、どのサークルまたは部活に入るのかということだと思います。

いるうちに日にちばかりがどんどん過ぎていく。そんな新入生の方々に私が言いたいことは、縁を大切にしてくださいということなんです。私は、中国語のクラスで隣の席の人に話しかけたのがきっかけで、友蔵に入りました。大学のサークル選びでは、自分がしたいと思ってることも大切ですが、偶然に見たポスター、偶然に出会った人、自分が求めていることをあまり意識しないで行動してみるのも良いと思うのです。

いただきました。そこで私が感じたのは、社会という複雑そうなの基本にあるのは実はサークルと同じもの、つまり社会は単純に一人のひととの関わりによって動いているということ。そして人と人の関わりは縁によって生まれてくる、ということでした。

人は自分の事を分かっているよ、うで、実は分かっているよ、多くあると思います。これからの学生生活、思いがけない偶然の縁を大切にすることが、意外と自分が求めている事への近道だったりするのかもしれないね。

そして最後になりましたが、この本を手にとってくれた皆さんが、今後とも友蔵との縁を大切にしてください。幸いです。

(フリーケース)

私は学生という身分ではありませんが、昨年度から、社会人と関わる機会が増えました。インターシップを経験したり、授業をきっかけに研究のため会社を自主的に訪問をしたり。ついこの間、作家高野和明さんともお仕事をさせて

# 12月に友蔵主催のトークショーに参加して下さった高野和明さんから横国生にメッセージを頂きました。

小説家になってからというもの、読者の感想が多様であることに驚かされています。本の中に印刷されている文字は一文字たりとも変わらないというのに、受け取る側の反応は、一人一人まったく異なりま

す。おそらく本の感想というものは、そこに書かれている文字情報と、受け手の人格の相互作用によって決められるでしょう。だからこそ、人の数だけ多様な感想があるのです。

読む側に立ってみれば、本そのものも多種多様です。面白いとつかまらないの他に、役に立つ本、素通りしてしまう本、勉強になる本、優等生だけどつまらない本もあれば、くだらないけど捨てがたい本などもあります。

そうして考えると、本は人間にそっくりです。縁に恵まれ、出会うタイミングさえ良ければ、一生涯つきあえる親友にすることだってできます。

学生生活だけでなく、これからの皆さんの長い人生を通じて、良い出会いがあるように祈っております――書物とも、そして人とも。

高野和明

## 13 階段

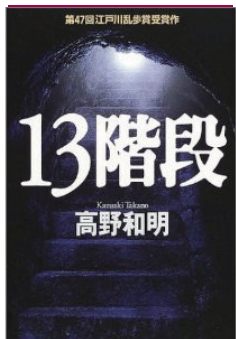
死刑への13個のステップ。  
今何段？

される。読み進めるほどに膨らんでいく、遣る瀬無い感情。為した行いが悪だと理解しながらも、それがその時の最善だったと思う心。死刑囚の冤罪を晴らせば真犯人はもちろん死刑となる。人の命を救うために立ち上がったはずなのに……。

重く難しいテーマをまとめながらも緻密なプロットを完璧に回収し、ミステリとしての面白さも追求する著者の姿勢を体験していただきたいと思う。

(正弦)

高野和明特集ということので僕が任されたのは、作家高野和明としての処女作である『13階段』だ。また、本書は第47回江戸川乱歩賞を受賞している。僕が高野小説を読む度に痛感することは持ち込まれるテーマの重さである。それは本書『13階段』では死刑制度の孕む矛盾を元・受刑者の心境を軸として展開



## グレイヴディigger

逃げろ！そして助けろ！

人鬼グレイブディiggerからも追われるようになった彼は、無事病院にたどり着くことができるのだろうか。

東京を舞台に繰り広げられる命懸けの鬼ごっこ。主人公のありとあらゆる手段を用いた逃走劇は手に汗握るものがあり、ページをめくる手が止まらない。

私見だが、この作品は色々な要素を詰め込みすぎている。やや回収仕切れてない気がする。しかしそんな細かいことはどうでもいいじゃないかと素直に思える、そんな楽く友人の元を訪ねると、そこには変わり果てた友人の姿があり、殺人事件に巻き込まれてしまう。

重要参考人として警察に追われ、さらには謎の集団や殺



## K・Nの悲劇

わが叫び、御前に  
いたらんことを――

### 予

期せぬ妊娠、そして  
中絶、という覚悟。

幸せだった日々は、音を立  
てて軋み始める。やがて果波  
の身に起こる異変、不気味な  
女の影と纏わりつく幼き頃の  
思い出の断片……。

果たしてこれはミステリー  
か、ホラーか。否、社会派エ  
ンターテインメントというべき  
か。

エラリー・クイーンの名作、  
『Xの悲劇』に連なる4部作



を彷彿とさせるタイトルに、  
期待半分警戒混じりに手をも  
ばし、そのまま引きずり込ま  
れた。映画脚本を手掛けた経  
験の賜物か、どこか、超訳  
的な文章運び。文字がそのま  
ま映像となつて脳裏を巡り、  
具合が悪くなる。  
いつの間にか辿り着いたら  
ストを確かめ、本を置いてつ  
く一息は、単なる安堵の溜息  
だったか。  
愛と戦慄、命の物語。  
「主よ、われ深きふちより主  
に叫び奉れり。主よ、わが声  
を聴き容れ給え。願わくは、  
わが願いの声に御耳を傾け給  
え。」  
(笙)

## 幽霊人命救助隊

一つ一つの命が、  
この世界を支えている――。

### そ

それぞれの理由で自殺を  
した四人の男女が、天  
国へ行くために自殺志願者の  
命を助ける、という物語。自  
殺や鬱などの重いテーマに対  
して正面から取り組んでいる  
が、文章は暗すぎずユーモア  
要素もたくさん含まれていて  
とても読みやすい。  
人は、他人から見たらもし  
かしたらほんの些細なことで  
悩み苦しみ、絶望的な気持ち  
だ。  
(銀魚)



## 夢のカルテ

覚醒は、淋しさからの  
逃げ道ではない。

### 楽

楽しい夢に、これが覚め  
てしまうのを惜しん  
で。怖い夢に飛び起きて、そ  
れが夢であったことに胸をな  
でおろす。そんな経験、ある  
だろう？

に入ることができると来生夢衣  
というカウンセラー。  
捉えどころのない「夢」「感  
情」。それは、個人の絶対的  
な領域。そこに踏み込む  
超能力。それを持つ者の孤独。  
隣に立つ存在を、継る先を  
見出した時、彼女の2つの世  
界を結ぶのは、もはや一粒の  
涙ではない。  
『13階段』、『ジェノサイド』  
とは異色のファンタジック・  
ミステリー。  
(笙)



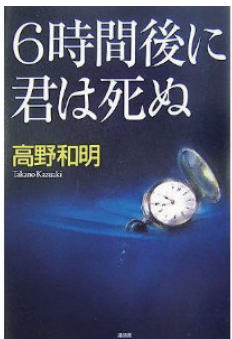
夢、それは自分の心の内を  
覗き見るようで……。  
銃撃事件に遭遇して以来、  
毎夜の悪夢に悩まされる麻生  
刑事が訪ねたのは、他人の夢

## 6時間後に君は死ぬ

「運命」を変えることは  
できるのか。

### 本

書には表題作「6時間  
後に君は死ぬ」とその  
ほか、3つの短編が収録され  
ている。各章には様々な形で  
人の未来を一瞬だけ見るこ  
のできる青年・山葉圭史が絡  
んできて、ある意味では連作  
短編集と言えるだろう。  
運命とは変えられるものな  
のか。そもそも運命は存在す  
るのか。もしも未来を知って  
しまったとき、どんな行動を  
とるのか。  
どの作品の登場人物も、先  
が見えない現状に不満を抱  
き、不安を感じるごく普通の  
人たちだ。そんな普通の人た  
ちが普通の幸せを大切にしてい  
く物語。いつ何が起きるか  
わからない人生だからこそ、  
毎日を大切に生きていくこと  
を忘れてはいけないのだと、  
そして迷ったときも明日を信  
じて自分で未来を選択するだ  
けなのだ、当たり前のこと  
を希望と共に思い出させてく  
れる。心が温まる、優しい短  
編集だ。  
(銀魚)





## 舞台は人類

るとその緑色は木々と水の色で、アフリカのジャングルを感じさせる木々の中にひとりポツンと立っている何かの生命を見つけることができます。実はいま表紙を見て想像しただけでも『ジェノサイド』の核心に触れているのです。印象的な表紙の効果でしょうか、生協書籍部でもジェノサイド特設コーナーに目が行き立ち止まる人たちがたくさんいました。さあさあ表紙から十分に想像してページをめくると……アメリカ大統領、つまり巨大国家権力が登場する場面から始まります。『ジェノサイド』は人類が舞台。アメリカ合衆国と日本国とコンゴ民主共和国で繰り広げられる『ジェノサイド』とは……。

ところで、私は哲学的な宇宙論

が好きでステイブレン・ホーキング著『ホーキング、未来を語る』は愛読書です。この本にも物理学から見た人間の未来について扱われています。「私たちの知っているものの中で、もっともすばぬけて複雑なシステムは私たちの体自身である。そして文字の発明により人類は自分たちだけで生物学的だけでなく電子的にも高度の複雑さを急速に発展させていくのではないか」とホーキング氏は言います。『ジェノサイド』を読んでこの一節を思い出しました。人類はどこに向かうのでしょうか。知的生命体には長期にわたって生き続けるほどの価値が本当にあるのでしょうか。私はあると信じています。



単行本：590 ページ  
 出版社：角川書店  
 ISBN-10：4048741837  
 ISBN-13：978-4048741835  
 発売日：2011/03

「人間はいつまで争いを続けるのだろうか……」こう思ったことがある人は多いのではないのでしょうか。自分が生まれるときには湾岸戦争、物心つく頃にはイラク戦争がはじまり、学校では日本や世界で繰り広げられた戦争の歴史を勉強しました。本作のタイトルにもなっているジェノサイドとは主に一つの民族への大量虐殺のことですが、それだけでありません。二二三ページを読んで新たな意味に出会うことでしょう。人間とは……戦争とは……。ページめくる手を止まらせてくれなかった高野和明さんがなんと横浜国立大学にお越しください、トークショーで『ジェノサイド』や創作活動について語っていただきます。私は、そのイベ

ント「国大読書マラソンコメント大賞授賞式&高野和明さんトークショー・サイン会」にてインタビューとして高野さんにお話しを伺いました。高野さんはとても和やかな方で、ガチガチに緊張してしまった私でも楽しくトークショーができました（すみません）。こういうわけで、最新作にして超大作の『ジェノサイド』の書評を任されて……さて何を書こうか、書いては消し書いては消し、散々迷って締め切りを過ぎてしまいました（本当にすみません）。

本を読む前にまずは表紙を眺めてみましょう。表紙から内容を見てみるのも面白いものです。本屋に平積みにもされた『ジェノサイド』をパッと目にしたとき、全体的に緑色なのが印象的でした。よく見

# 2012

ともだち  
年友棚、

生まれ変わります!?

## 友棚って？

皆さんは友棚という代物を知っていますか？まあ、大方の人が「そんなもの一度も聞いたこともないよ」と答え、「ああ、知っているよ」と答える人は友蔵と混同していることと思われます。生協書籍部の

一面に友蔵専用の棚というものが存在し、一部の学生が好き勝手に本を置いていくという事実、誰も知っているはずがない。

かつ、完全に存在意義を喪失してます……。

それはままずい。全くもってままず



いです。友棚担当の私は部内で無言の圧力を感じているような気がしなくてもない。なんとかしなければ……。

そこでこのページを使って、友棚では何をやっていくのかというのを告知しようというわけなのです。

## 友棚の場所

友棚は学生会館下の生協にのみ設置されています。生協の入り口を入ってまっすぐ進み、右に曲がって書籍部に行きます。レジカウントアの前を通り、雑誌コーナーのもうひとつ左の列の正面に見えてくるのが友棚です。

## 今後の予定

2月

### 「講談社メフィスト賞特集」

ジャンルは問わない。経歴も職業も関係ない。ただ、面白ければよい。その特異性は数多くの人気作家を育ててきました。

ありとあらゆる面白い作品が存在するメフィスト賞。これらの中にきつと貴方の気にいる作品もあるはず。

公式ホームページはこちら。

<http://www.bookclub.kodansha.co.jp/mephisto/>

### メフィスト賞受賞作（一部抜粋）

森博嗣『すべてがFになる』 清涼院流水『コズミック』

高里椎名『銀の檻を溶かして』 舞城王太郎『煙か土か食い物か』

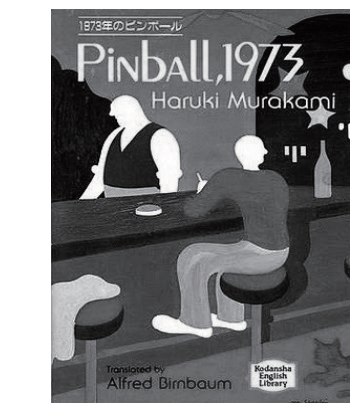
佐藤友哉『フリッカー式』 西尾維新『クビキリサイクル』

辻村深月『冷たい校舎の時は止まる』 古野まほろ『天帝のはしたなき果実』



文章はさほど難しくなく、やや厳しい単語や表現は巻末にリストが付いていて辞書を引く必要がないので、スムーズな読書感が損なわれていない。なにより、原作の独特な雰囲気や英文から伝わってくる。翻訳者であるアルフレッド・バーンバウムについては、翻

訳があまり原作に忠実ではないという評があるようだが、この作品に関しては気にならなかった。ただ、この本が英語力向上（特に会話）への即効性の薬になるのではないか、という目論見は外れてしまった。読めばわかると思うが、作品内において「僕」と双子の間で交わされる、かみあわなしい会話はあなたがよほどの不思議ちゃんでない限り、英会話には全く生かされないだろう。



文章はさほど難しくなく、やや厳しい単語や表現は巻末にリストが付いていて辞書を引く必要がないので、スムーズな読書感が損なわれていない。なにより、原作の独特な雰囲気や英文から伝わってくる。翻訳者であるアルフレッド・バーンバウムについては、翻

訳があまり原作に忠実ではないという評があるようだが、この作品に関しては気にならなかった。ただ、この本が英語力向上（特に会話）への即効性の薬になるのではないか、という目論見は外れてしまった。読めばわかると思うが、作品内において「僕」と双子の間で交わされる、かみあわなしい会話はあなたがよほどの不思議ちゃんでない限り、英会話には全く生かされないだろう。

文庫：215 ページ  
 出版社：講談社インターナショナル  
 ISBN-10：4770022085  
 ISBN-13：978-4770022080  
 発売日：1997/04



## Walk slowly and drink lots of water!

大学に入ったなら「英語力」が必要だといわれる。それも結構な頻度で。聞いてみると、必修の授業から就活や院試まで、大学においても英語はどこまでも付きまといてくるらしい。うーん。「脅し」に弱い僕は英語へのとっかかりとして洋書を読んでみることにした。大学一年の五月であった。なぜ洋書か、といわれると答えかねるのだが、少なくとも「洋書」が「いい」という短絡的な思考によるものでは決してなかった、はずである。たぶん。とにかく、本屋の洋書コーナーに行ってみると、そこには色とりどりのペーパーバックがあつて、僕はそのうちの一冊を選んだ。記念すべき一冊目の洋書。

招くことに……。なかなか読み進められないのだ。科学の一般書だったのだが、ちよつとでも話が専門寄りになると単語が全く分からない。読んでいる時間よりも辞書を引いている時間が長くなり、読書ではなく読解へと変わっていった。さらに困ったのが、自分の訳が正しいのかもわからないという状況。翻訳版が出ていなかったのだ。限界を感じながらもしばらくは読み続けてみたが、ついにはあきらめて別の本を探すことにした。



は人間なら当然の墮落の結果なのだ、と『墮落』の言い訳に気軽な気持ちで安吾を引つ張り出せなどというつもりもない。

そんな簡単な言葉ではないのだ、『墮落』は、安吾の言うそれは、極めて『健全な落伍』であって、社会に張り巡らされた『網』(それは築かれてきた文化であったり、社会制度であったりするのだが)から漏れ出た場所にある。

現状(いま)を、疑え。

日常が、非日常になった。当たり前前が、当たり前ではないと知った。

そんな時だからこそ、墮ち、見極めろ。

時代を超え、安吾のメッセージに再び目を向ける時は、今だ。



### 現状 (いま) を、疑え。

一 瞬のうちに世相は変わった。  
 【3月11日】あの日から、1年。『災後』復興の道を歩む日本に、『戦後』の姿を重ねた人はどれほど居たか。

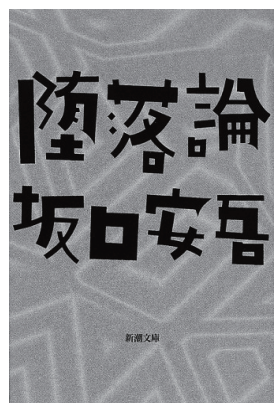
「墮落論」は昭和21年「早稲田文学」に寄せられ、敗戦直後の日本人に大きな衝撃を与えた作品である。

価値観は崩れ、混乱した世の中で安吾は書く。戦争に負けたから墮ちるのではないのだ。人間だから墮ちるのであり、生きているから墮ちるだけだ。そして人の如く、日本もまた墮ちるべきだと。

何だか荒いが、リズムカルな文章。歯に衣着せぬ物言いに胸のすくような思いもするが、そのあまりの切れ味に、うむ、ちよつと待

てよ、と反発心も湧く。読み終わるのにさほど時間はいらさないが、ページを閉じ、一呼吸。そして少し考える。結局墮落とはなんなのか、そして人間が墮ちる意味とはなんなのか。

大学生活には常に『墮落』の影が見え隠れする。受験を経て飛び込んだ社会とは一線ひかれた環境に解放感を覚え、新たな出会いに期待を膨らませる。それまでの規定雁字搦めの『囲い』を脱した学びの場に浮かれ半分。バイトやサークル、やりたいこと、魅力的な楽しい誘いが目の前にちらつき、次第に『墮落』していく学生の図。ああ、胸が痛い。何も新入生諸君の鼻先に、現実を突き出したいわけではない。増して、それ



単行本：322 ページ  
 出版社：新潮社  
 ISBN-10：4101024022  
 ISBN-13：978-4101024028  
 発売日：2000/06



## 青春ではなく、 著者の別の境地へ

**米**澤穂信といえば日常の謎を扱う青春ミステリの印象が強いと思う。しかし、近年発表された、『ボトルネック』や『儂い羊たちの祝宴』など、青春といふ語の持つ華やかさ、爽やかさからは一線を画した暗く、重い雰囲気醸し出す作品が真骨頂なのではないかと僕は感じる。

新入生にお勧めする本として、今回は後者に位置する作品である『追想五断章』を紹介したい。お勧めする理由は僕の一番好きな作家でまだ書評、またはそれに準ずるものをこの作品で記していないからであるが、皆さんに読んで頂きたい本であることに間違いはない。

さて、本書『追想五断章』は著者米澤穂信自身が『渋い話』を脱線してしまったが、最低限着目してほしいところを述べて結びとしたいと思う。

読んでいる間に心に留めて忘れないでもらいたい内容が一つ。それは序章「わたしの夢」である。そして最後まで忘れずに読み切った後、もう一度読み返してほしい。それほど本書における序章は大きな意味を有していると僕は考えるからだ。おそらく読み返した時、序章は序章ではなくなっているだろう。そしてもうひとつが文章だ。5つのリドルストーリーだけを指すのではなく、物語に込められた、ある人の言葉にしてはならなかった思いに耳を傾けてほしいと思う。作中で起きた事件から22年、心の底に手を伸ばしてほ

イメージして書いたと言うように、高校生を主人公にした時のような熱っぽさ、成長というものを感じることはない。全体を通して冷たく、寂しい。これは『成功』という単語があまりにも物語から遠ざかっているからなのかもしれない。けれど、この寂寥感こそが魅力となる。

自分の読書の感想はこの辺にして、少し内容に踏み込んでいこうと思う。本書はタイトルにもあるように、5つの断章を探す物語である。この断章というのがいわゆるリドルストーリーになっている。リドルストーリーというのは芥川龍之介の「藪の中」に代表されるような物語自身に明確な結末が存在しない物語のことだ。この5つの断章こそがパズルのピース

しい。最後にこの著者『うまい』と唸ることを願う。



文庫：240 ページ  
出版社：幻冬舎  
ISBN-10：4087713040  
ISBN-13：978-4087713046  
発売日：2009/08

物語の中で僕も霸王と肉のカタマリの間でもがき苦しみ、最終的に答えを見出す。その過程はとも見苦しく、現実でもここまで酷い人は忽々いないだろうと思ってしまう。だが一度読めば分かる

しかし私達は彼の事を他人事のように笑えるだろうか。あなたの子供の頃を思い出していただきたい。アスリートや芸能人など今となっては突拍子のない夢を抱いてはいなかっただろうか。無知ゆえの全能感が故に。しかしそんな幻想は大人になれば打ち砕かれる。一握りの天才以外は挫折する。ごく一部の人間を除いては決して避けられない道だ。それを受けて成長するか、そのまま落ちぶれるかは個人次第なのだろう。

だろう。自分は特別な存在だと信じて、現実には何者にもなれないと知って、それでも諦めきれずにもがき苦しむ。そんな僕の後ろ姿は我々そのものだ。この作品には過激な描写が多々含まれる。反社会的な描写も多く、内容も暗い。正直毛嫌いな方も少なくないだろう。それでも内容から目を背ける事が出来ない。そうさせる何かがある作品だ。受験に成功した人もそうでない人も一読していただいて、自分の人生を見つめなおしてみるのもいいと思



単行本：238 ページ

出版社：講談社

ISBN-10：4062130637

ISBN-13：978-4062130639

発売日：2007/06



「好きに生きるといいわ。  
何をやっても挫折はするし、  
何になっても幸福だから」

今 回の特集は新入生に薦めた本ということだが、これを書いて自分も一年前は受験戦争にて疲弊しきった新入生だったわけで時が経つのは早いものである。普通ここでは「入学おめでとう！」といった類の祝言を書くべきなのだろう。しかし惜しくも第一志望校に届かず、屈折した思いを抱えてこの大学にやってきた方々も少なくはないはずだ。単なる努力不足か身辺管理の失敗、あるいはどうしようもない才能や運。様々な現実を突き付けられ、挫折することは人生において受験以外にも当然存在する。そんな人間が一度は味わう挫折を非常に生々しく、そして鮮烈に描いた作品が今回紹介する『灰色のダイエットコカコーラ』である。

主人公の僕は町を牛耳っていた祖父を「霸王」と慕い、町の人々——普通の人を「肉のカタマリ」と軽蔑してはいるが、結局は学歴も才能も何もないフリーターである。本編は僕の回想から始まり、その中でミナミ君やハサミちゃん、ユカちゃん、組長など様々な人と出会う。彼らは皆僕が軽蔑する肉のカタマリであるが、何かしらの答えを見出している。一方で僕は霸王の血を継ぎながらも霸王にもなれず、肉のカタマリとしての人生を受け入れる事も出来ず、怠惰な日々を送っている。偉大な祖父を夢見て、普通の人を見下しているが現実には普通にすらなれないフリーター。傍からみれば僕の姿はとても痛々しく、目を背けたくなるほど愚かだ。

しかしこれらの部屋は乱雑の中にシンプルさ、汚さの中にどこか美しささえ感じることができたのは俺だけではないはず。自由の象徴として熟読玩味しては怒りを静めた。

―筆者は本のあとがきでこう言っ

目もくれずに購入してしまった。そしてただひたすら読み進めた。これは当時の(そして現在も)俺の願望そのままを写真にしたものだと思う。この本に写っていたのは、おしゃれインテリア写真集にありがちな、きれいな部屋を見せびらかすようにして撮られたものではない。ただ自分のありのままの生活によって汚れた部屋を「これでもか!!」、というほどに晒し出したM本なのである。

ている。(究極の居住空間はと問われるたびに……最後に望む生活が深山の方丈にいきつく)。人が生活していくために最も必要なのは、豪華なかざりやオシャレなおブジェなどではなく、誰の制約も受けられないという自由の心なのだと思う。同じ不満を持つ自宅生には是非読んで欲しい一冊だ。あー一人暮らししたい。



## 小さい部屋でごちゃごちゃと、気持よく

**新** 入生の皆さん、入学おめでとう。これからの新しい大學生活に、皆さんは何を期待しているのだろうか。友達、お酒、彼女・彼女？俺は入学したばかりの頃は、異常な程に一人暮らしに憧れていた。憧れていた、というかにはその時は当然実家通いであり、そして現在も多大な時間と親との揉め事を繰り返していった結果、まだ一人暮らしは許されず合計2時間30分かかる埼玉の実家から通学している。

もう一度言うが、当時の俺は異常なほどに一人暮らしに憧れていた。友達の家に行くと思われた、好き勝手に錯乱してはいるがすべてのものの位置が手に取るように分かるという便利さ。ゴミ箱周りに錯乱する、無残に投げ捨てられ

再利用されるティッシュの山。ゴミを出す時間に間に合わず、入り口にどんどん貯められていくごみ袋の山。それらは馬鹿らしいようだが私には自由の象徴に見え、ただ羨ましい思いが募るばかりだった。

しかし親はとことん一人暮らしには反対で、頑として俺の話に聞く耳は持たなかった。反発した俺は、どうしたのか……一冊の本を買いに走った。それこそが、この『TOKYO STYLE』だった。

この書籍は以前から知っていて、見かけるたびにちらほら立ち読みはしていたのだが、この時にまさか衝動買いしてしまうとは。簡単にいえば文庫のフルカラー写真集で、値段も高い。ただその時の俺は無我夢中だった。値段には



文庫本：433 ページ  
出版社：筑摩書房  
ISBN-10：4480038094  
ISBN-13：978-4480038098  
発売日：2003/03

# 読書マラソンに参加しよう

## 読書マラソンとは

読書マラソンは、大学生生活の4年間で本を100冊以上読むことを目標に、全国の大学生協で行われている読書推進活動です。横浜国大生協においてもその活動は行われています。活動内容はいたってシンプル。本を読んで感想を書く。これだけです。

では読書マラソンへの参加方法を紹介しましょう。特に難しいことはありません。

① 生協店舗にあるエントリーシートに必要事項を記入して、書籍部の店員さんを持つ

ントカードの募集をして、最も素晴らしいコメントを決めよう、というものです。各賞には豪華な景品が設けられています。今年度も全国から多数の応募がありました。

そんな全国読書マラソンコメント大賞にあわせて、横浜国大生協でも「国大読書マラソンコメント大賞」が開催されました。多くの応募があり、そのどれもが素晴らしいコメントの数々でした。その中から厳正な審査の結果、最優秀

ていってください。手続きがすんだらエントリー完了です。

② 本を読みましょう。ただしコミックスや雑誌、教科書は対象外になっています。

③ コメントカード（ポップカード）に本の感想を書いて、書籍部の店員さんに提出しましょう。コメントカードは書籍部の店員さんに頼めば貰えます。

では参加するとどんな特典があるのでしょうか。実はコメントカードを10枚提出するごとに、横浜国大生協でつかえる図書

賞他が決定され、それぞれ景品が授与されました。

## 読書マラソン交流会

また、関東圏の読書関連のサークルが集まって、読書マラソン交流会という企画も行われました。会場に作家の森美登美彦さんを招待するなど、大規模な企画となりました。

読書マラソンの活動は年々活発となってきました。ぜひ参加し

券500円分がプレゼントされます。本を読んで感想を書くだけで図書券がもらえるなんて、とってもお得な企画ですね。



コメントカード

## コメント大賞

さらに年に1回、「全国読書マラソンコメント大賞」が開催されています。全国の大学生協がコメ

て、読書をさらに楽しみましょう。皆さんもぜひ参加してください。



# 次号は 2012年 5月下旬 発行予定

尚、予定は断り無く変更される場合がございます。

## 友蔵とは

「学生にもっと読書に親しんで  
もらおう」という理念のもとに生  
協と協力して創られた書評サーク  
ルです。年数回の書評誌発行や生  
協で行っている読書マラソンのお  
手伝いをしたりと積極的な活動を  
しています。普段はお昼に集まっ  
てのお喋りがメインなようなユル  
ユルな感じでやっています。興味  
をもたれた方は、月・金の昼休み  
に教育7号館3階302号室あた  
りで集まっているのでお気軽にお  
越し下さい。お待ちしております。



## Tomozo

Vol.16

編集長 フリーケースケ

わざわざ横国生のために  
メッセージを書いて頂き、  
高野さんには本当に感謝し  
ております。ありがとうござ  
いました。

編集 時雨屋

初編集でした。慣れない  
ソフトと格闘しながら  
作った Tomozo、気に入っ  
てくださると嬉しいです。

## あとがき

米澤穂信好きオフ会に参加。アップルパイアラモー  
ド美味なり。(正弦)

友棚は俺の意のままに…… (マトン)

しばらく私は水曜深夜の30分間の為に生きていき  
ます。(銀魚)

要領と確かな人脈が全てだ! (笙)

ゆっくり旅行したいなあ。小豆島とか。(カルロス)

ようやくペンネームが落ち着きました。編集長、  
考えてくれてありがとうございます。(環)

発行日 2012年1月28日

発行 生協読書推進委員会  
友蔵

生協読書推進委員会  
毎週月・金曜日 昼休み  
教育7号館3階 友蔵

302号室あたりにて活動中



# 大学生協

大学生協インターネットサービスは早く、安く、便利です!

# 書籍インターネットサービス

http://honya.univ.coop/

## 生協ならインターネットでも 和書 10%OFF!



携帯はこちらから

CD/DVDもご利用できます

組合員証の提示にご協力ください

### オンライン上で和書が検索・注文できます!

日版「HonyaClub.com」との提携で、早く確実なサービスを実現しています。  
※「HonyaClub.com」のポイントサービスは生協では適用されません。  
※宅配の場合は生協割引が適用されませんので定価販売になります。(送料負担あり)  
「本やタウン」をご利用されていた皆様は、そのままのID・パスワードで利用できます。  
新規に利用希望の方は、登録をお願いします。

- 文庫、コミックから専門書まで注文できます。
- リアルタイムに在庫が表示されます。
- 在庫品は2~3日で店舗に到着します。

オンライン書店だから  
**24時間営業**  
パソコン携帯からご注文可

### 生協店舗で受け取れます。

- ご所属の大学生協店舗をご指定下さい。

### メールで状況をご連絡します。

- 生協店舗に入荷した時点で「入荷案内メール」を送信いたします。
- 「ご注文履歴」はマイページから確認ができます。



お問い合わせは生協の店舗まで

【個人情報の扱いについて】

お申し込みの際の個人情報は、ご本人との連絡、生協「HonyaClub.com」(日版)からの案内に利用させていただきます。また大学生協取引先との商品・サービス手配に利用させていただきます。

2012  
1/28

毎季  
1回発行

平成十九年十月八日第一号発行 平成二十四年一月二十八日第十六号発行・配布  
住所 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台七九一横滨国立大学教育七号館三〇二号室  
発行・編集 多田啓亮・宇左見桃代 発行所 工学部生協